



第12号  
編集・発行  
岩松地区まちづくり協議会  
岩松まちづくりセンター内  
電話 63-5210  
岩松地区の人口  
男 4,870人  
女 5,088人  
計 9,958人  
(4,336世帯)  
令和5年7月1日現在

### 岩松北地区との

### 共催事業終了

青少年育成部会が旧生涯学習推進会の時から、岩松北地区生涯学習推進会と長年行ってきた、岩松北地区の「灯ろう作り教室と灯ろう流し」、岩松地区の「凧作り教室と凧あげ大会」の共催事業は、令和四年度をもって終了しました。

令和五年度からは、それぞれの地区が主催事業として行いますが、今まで対象としていました両地区の子ども達には変わらず参加してもらいます。

また、凧あげ大会は、各部会の協力のもとに実行委員会として行い、大凧の扱いを無くした上で、名称を「こども凧あげ大会」とします。

岩松地区まちづくり協議会

会長 大芝 收

行事名	氏名	まち協内役割	町名
体育祭	本谷 島作	理事	水神
文化祭	大芝 收	会長	四丁河原下
安全大会	岩渕 力夫	副会長	林町
こども凧あげ大会	小笠原 幸臣	理事	新町
かりがね祭り	加藤 昭夫	実行委員長	橋下

〈各実行委員会の詳細〉

### 春の交通安全運動

今年の春の交通安全運動は四年に一度の選挙の年の関係で一ヶ月遅れの五月一五日(月)七時～八時、岩松まちづくりセンター前交差点にて、安協岩松分会、まちづくり協議会生活安全部会の役員など、二〇数名の参加のもと実施しました。

新しい試みとして、今まで登り旗を持って街頭指導を行いました。今回からハンドプレートで行い、参加者からの評判も良かったです。

今後、歩行者・自転車・車運転者にも浸透させ、意識喚起で事故防止を図っていききたいと思えます。

岩松地区まちづくり協議会

副会長 岩渕 力夫



### 岩松小学校 コミュニティ・スクール 二年目です

岩松小学校は、令和四年度から富士市教育委員会の指定を受け、「コミュニティ・スクール」となりました。今年度は二年目となります。

「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会制度が導入された学校のことです。学校、地域、保護者が子どもたちのために力を合わせ「地域とともにある学校づくり」を目指す仕組みです。少し難しく感じますが、学校が地域の中心になり、学校教育に関わりのない家庭や世代をも巻き込み、学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組んでいくこと

なのです。

この制度により、今まで以上に家庭・地域の力を生かした岩松小学校づくりを進めることができます。

学校運営協議会は、保護者や地域の方をはじめとする十五名の委員で構成され、年三回程開催します。

会では、「地域と学校との連携をどう進めると良いか」「子どもたちの安全を守るために、地域や家庭でできることは何か」等、話し合いを行っています。話し合いでは、委員の皆様の「子どもたちのために」という思いが伝わってきて、ありがたく思います。

家庭、地域の皆様のお力をいただきながら、教育活動を進めていきたいと考えています。ご協力よろしくお願ひします。

### ふれあい協力員制度について

富士市では、全ての小中学校で「ふれあい協力員制度」を取り入れていきます。学校内外での子どもたちの教育活動や安全な生活を支えるための活動にご協力いただく制度です。

岩松小では、昨年六〇人程の方が登録してくださいました。特に校外学習時の安全確保へのご協力は、とても助かっています。また、トイレ清掃では、大人の手で徹底して行うことでトイレがとてもきれいになり、ありがたかったです。

保護者・地域の皆様には、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけるようお願いいたします。

です。

\* 登下校時の安全見守り

\* 学校図書館ボランティア

\* 学校の環境整備(清掃・草取り等)

\* 社会科見学等の校外活動時の補助

\* 学校行事等の補助・準備片付け等

\* 授業での支援(家庭科・体育等)

ご協力いただける方は、「ふれあい協力員登録カード」に必要事項を記入し、学校に提出してください。随時受け付けております。

カードは学校にあります。まちづくりセンターにも置かせていただいております。ご協力、どうぞよろしくお願ひいたします。

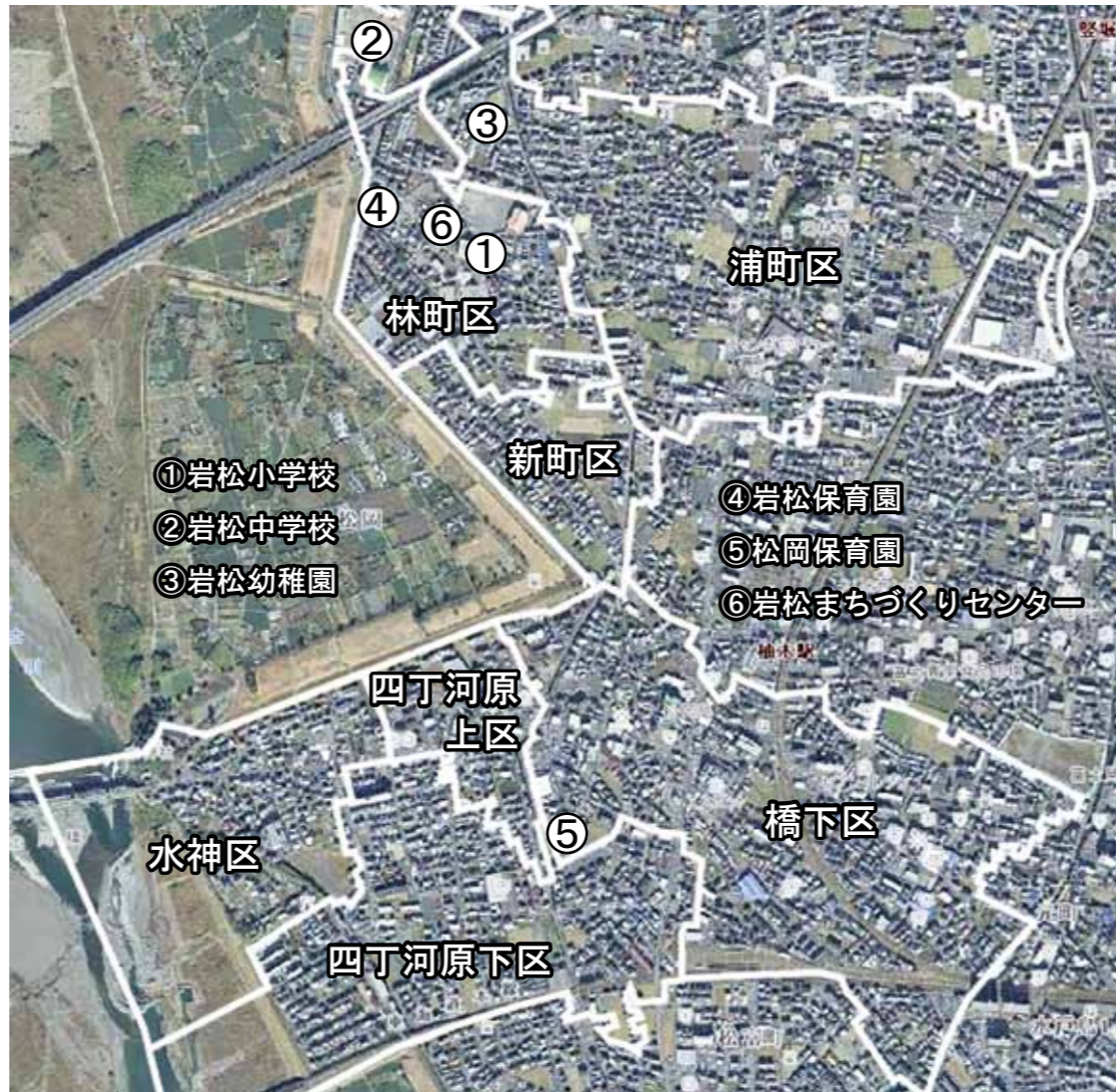
岩松小学校教頭 芝山ひろみ



岩松小150周年  
(令和4年度6年生作成)



生徒会入会式で演奏する吹奏楽部



### 私たちの岩松地区



1年生を歓迎する会



修学旅行にてご法話を聴く

### 令和六年度より岩松中学校はコミュニティ・スクールになります。

岩松中学校の校長に着任しました、井上淳と申します。本校での勤務は、教諭時代を含め初めてになります。毎日、子どもたちの元気な挨拶と活力あふれる様子から、たくさんエネルギーを得ています。校長として、子どもたちが夢や希望を持ち、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう全力を傾けていく所存です。岩松地区の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、富士市では令和六年度から、小中一貫教育が始まります。これは、小中学校の教職員が互いの

理解を深め、義務教育九年間の学習内容のつながりを大切に、児童生徒一人一人に応じた指導の充実を図ることをねらいとしています。岩松中校区の小中学校では、施設分離型としてその準備を進めており、小中一貫の目指す子ども像を「い・わ・ま・つ」「い」「い」いつでも自分から動く子、「わ」「わ」わたしもあなたも大事にする子、「ま」「ま」学びを楽しみ、表現する子、「つ」「つ」つながりながら、成長する子)にし、小中一貫の教育目標といたしました。小中一貫教育では、「人をつなぐ、学校をつなぐ、学びをつなぐ、教職員をつなぐ、地域をつなぐ」とつながりを大切に教育活動が推進されます。現在そのための準備を進めてい

るところです。子どもたちの豊かな人間性や社会性を育てためには、地域とともに歩む学校づくりが不可欠になります。そのための一歩として、令和六年度より岩松中学校は「コミュニティ・スクール」となります。ぜひ、岩松地区の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

先日、本校の歴史を知ろうと「創立五十周年記念誌」を読んでいます。すると、当時の校長である下島哲夫先生の書かれた文章に、「岩中生の良い所は、学校行事や部活動を通して上級生である三年生が、精一杯の力を出し、下級生に良い手本を示してくれることが受け継がれていることにある」という一文がありました。本校が五十周年を迎えたのが

平成八年になります。「三年生が下級生に手本を示す」ことが、二十七年たった今も、岩松中学校では日常的に見られています。いろいろな活動が制限されていたこの三年間を思うと、この伝統が続いていることは、本当にすごいことだと思います。「かがね魂」といわれる精神的な核が、生徒の中で脈々と受け継がれ、学校の中で確実に根付いているからだと感じます。

このような素晴らしい生徒がさらに成長できるよう、職員一同全力で支援していきます。岩松地区の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

岩松中学校校長 井上 淳

## これからの事業

日程/場所	事業
9月3日(日) 岩松小学校グラウンド	地区市民体育祭
10月7日(土) かりがね堤	かりがね祭り
10月31日(火) まちづくりセンター	市長との行政懇談会
11月12日(日) まちづくりセンター	地区文化祭
11月26日(日) 岩松中学校	地区市民安全大会
1月7日(日) かりがね堤	地区 こども凧あげ大会
1月13日(土) かりがね公園	どんど焼き
2月頃 地区内全戸配布	広報紙第13号発行



## 岩松地区防災会議

近年、想定を超える大雨による浸水被害が発生していることから、富士川逃げどきマップ(富士川洪水ハザードマップ)を元に、想定される洪水と情報収集についての講話を受けました。また、岩松小学校における避難所運営マニュアルについての説明を受けました。

河川洪水による浸水想定区域を記した「富士川逃げどきマップ」は、市役所やまちづくりセンターで配布しているので、ぜひご活用ください。

岩松地区まちづくり協議会  
会長 大芝 收



令和五年二月十日に「岩松地区健康推進員」の方たちから、まちづくり協議会に血圧計を寄贈していただきました。岩松まちづくりセンターに設置してありますので健康チェックにご利用ください。



富士市国民健康保険 40歳以上の方  
特定健診・がん検診をうけよう  
特定健診は12月9日まで

井手内科医院【要予約】 ☎ 0545-61-9155  
原内科クリニック ☎ 0545-61-0988

## 岩松地区全体で取り組む健康づくり

国民健康保険の特定健診受診状況(令和4年度)

町内であと何人?	受診率	市平均まで	市の目標
		32.5%	45%
林町	40.2%	達成!	あと5人
水神	23.5%	あと7人	あと17人
新町	37.3%	達成!	あと6人
四丁河原上	30.0%	あと2人	あと9人
四丁河原下	29.4%	あと9人	あと47人
橋下	34.7%	達成!	あと37人
浦町	35.3%	達成!	あと37人

岩松地区担当保健師

藤田 茂美